

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第180号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年7月24日 20時40分ごろ	
発生場所	広島県福山市津軽島東岸 福山市所在の福山港玉津島防波堤東灯台から真方位222° 0.5海里付近 (概位 北緯34° 22.2′ 東経133° 22.5′)	
事故等調査の経過	平成23年10月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第二十一 <sup>かくえい</sup> 覚栄丸、198トン	
船舶番号、船舶所有者等	120431、株式会社覚栄丸	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	球状船首船底部に凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、広島県大竹市阿多田島で活魚約16tを積み込み、船首約2.8m、船尾約3.8mの喫水で出航し、福山港鞆地区南方沖の鞆の浦に到着したが、荷役開始の予定時刻まで時間があつたので、船長は、荷役開始まで待つ間、積荷の活魚が弱るのを防ぐため、魚倉内の海水を循環させようとし、周辺海域を巡回航行することとした。</p> <p>本船は、福山港鞆地区南西方沖を巡回航行中、船長が居眠りに陥り、約7ノットの対地速力で平成23年7月24日20時40分ごろ津軽島東岸に船首部をほぼ真北に向けて乗り揚げた。</p> <p>船長は、直ちに機関を停止し、船内及び船外を点検したところ、浸水や油の流出は発見されなかった。</p> <p>船長は、荷受先に本事故の発生を連絡し、本船は来援した同社の船舶の援助により21時20分ごろ離礁した。</p> <p>船長は、再度、点検の結果、本船に異常を認めなかったことから航行を再開し、21時45分ごろ福山港鞆地区に到着した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1 海象：波高 約1.0m、潮汐 下げ潮の中央期、大潮	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、福山港鞆地区南西方沖を航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったことから、津軽島に向けて航行を続け、津軽島東岸に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、福山港鞆地区南西方沖を航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、津軽島に向けて航行を続け、津	

	軽島東岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・当直中に眠気を催したときは、身体を動かすなどして眠気の払拭に努めること。</li></ul>